

TORAY IR Day

中期経営課題“IGNITION 2028”事業説明会

医薬・医療事業

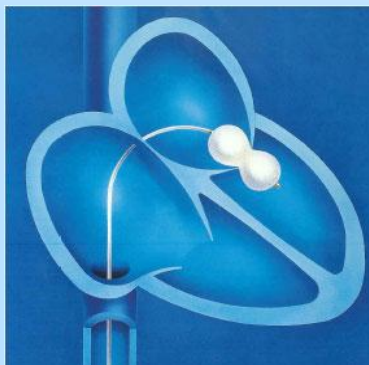
2026年6月9日

東レ株式会社

常務執行役員 医薬・医療事業本部長

東レ・メディカル株式会社 代表取締役会長

井口 雄一朗



INDEX

目次

I AP-G 2025の振り返り P.3-4

II 医薬・医療事業の概要 P.5-7

III **IGNITION 2028 事業戦略**

1.基本方針・課題 P.8-11

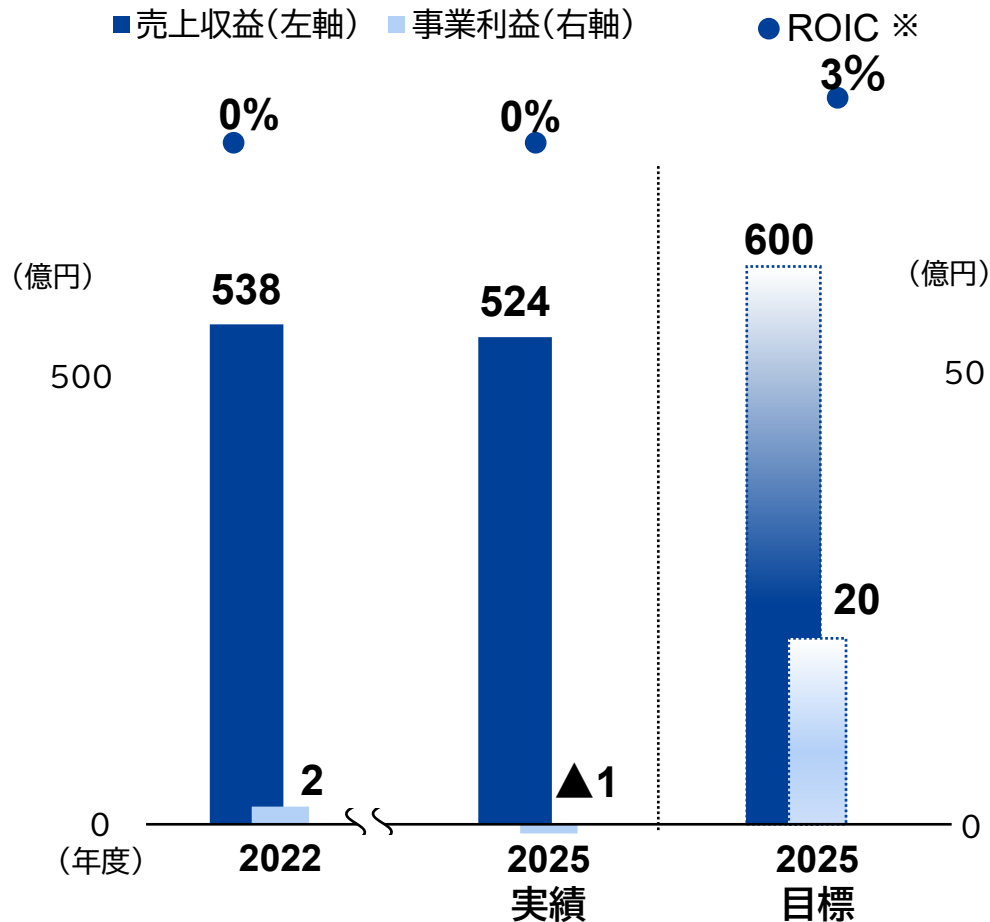
2.事業別課題・戦略 P.12-25

IV 2028年度の目標値 P.26-27

I

AP-G 2025の振り返り

業績推移 (ライフサイエンスセグメント)



※ ROIC: 税引後事業利益 ÷ 投下資本 (期首・期末平均、事業資産ベース)

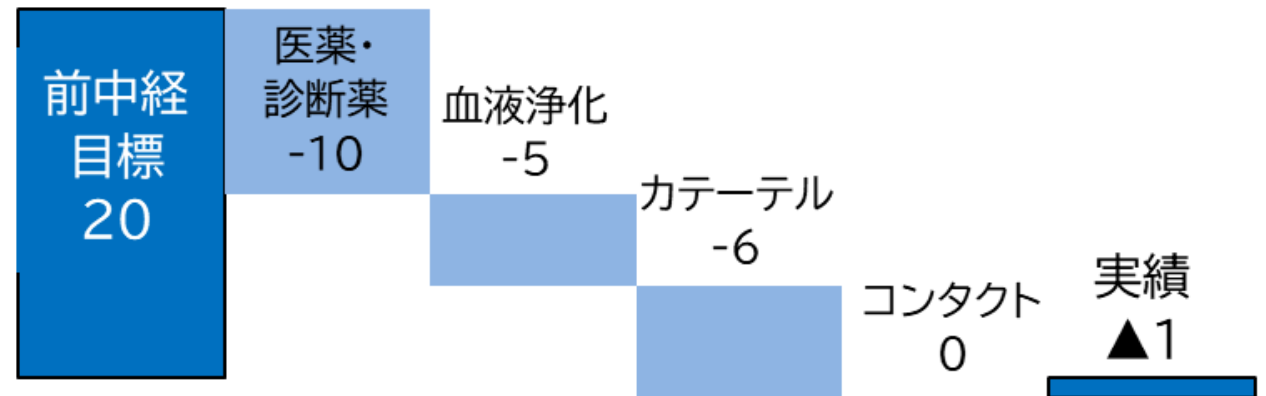
AP-G 2025基本方針

新製品・改良品開発の成功確率向上、適応拡大、海外展開を推進、2025年度での利益獲得、事業の健全化を図る。

事業利益: 目標比21億円の減益

- ・薬価・償還価格の継続的な引き下げ、後発品推奨の拡大
- ・既存製品の海外展開・改良品上市、新製品開発の遅延
- ・抜本的構造改革 (赤字事業撲滅、営業費徹底削減) の遅れ

2025年度事業利益



事業構造改革実行

Ⅱ

医薬・医療事業の製品概要

医薬・診断薬

ドルナー®



慢性動脈閉塞症に伴う
潰瘍、疼痛、冷感の改善、
原発性肺高血圧症

ケアロード®



肺動脈性
肺高血圧症

レミッチ®



経口そう痒症
改善剤

東レAPOA2-iTQ®



膵がん診断薬*

*: 血清・血漿中アポリポ蛋白A2アイソフォーム
の測定による膵癌診断補助

血液浄化

透析用
トレライト®



透析器/血液透析濾過器

フィルト
ライザー®



フィルトール®



透析アミロイド
治療カラム

救急用

トレミキシン® ヘモフィール®



エンドキシン
除去向け吸着型
血液浄化用浄化器

急性血液
浄化器

カテーテル

イノウエ・バルーン®



僧帽弁/大動脈弁狭窄症

ホット・バルーン
カテーテル



不整脈治療
(心房細動)

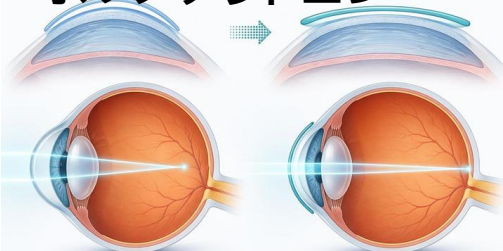
カテーテルアクセスポート



抗がん剤等の化学療法、
静脈栄養法

コンタクトレンズ関連

オルソケラトロジー



ハードレンズ用原料(ボタン)



ソフトレンズ用原料



コート材料



医薬・診断薬

ドルナー® ケアロード®

医薬市場:1300億USD
CAGR 4.7%

慢性動脈閉塞症に伴う
潰瘍、疼痛、冷感の改善、
原発性肺高血圧症

肺動脈性
肺高血圧症

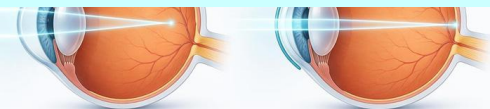
診断薬市場:109億USD
CAGR 7.6%



経口そう痒症
改善剤

膵がん診断薬*

*:血清・血漿中アポリポ蛋白A2アイソフォーム
の測定による膵癌診断補助



血液浄化

透析用 フィルト
透析市場:4.3億USD
CAGR 5.3%

透析器/血液透析濾過器

フィルトール®



透析アミロイド
治療カラム

救急用

救急製品市場:0.8億USD
CAGR 8.2%

除去向け吸着型
血液浄化用浄化器

急性血液
浄化器

カテーテル

カテーテル市場:30.5億USD
CAGR 8.5%

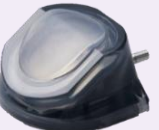


僧帽弁/大動脈弁狭窄症

ホット・バルーン

不整脈治療
(心房細動)

カテーテルアクセスポート



抗がん剤等の化学療法、
静脈栄養法

コンタクトレンズ関連

コンタクトレンズ市場:0.8億USD
CAGR 6.7%



ソフトコンタクトレンズ市場:20.5億USD
CAGR 4%



Ⅲ-1

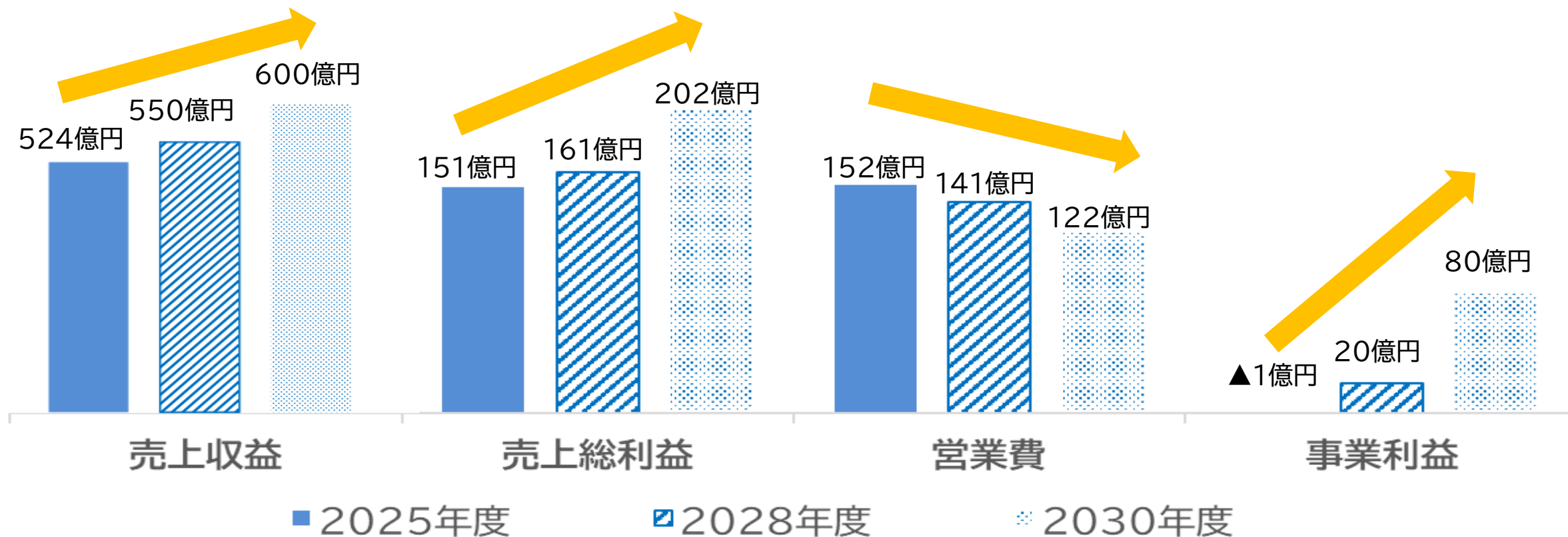
IGNITION 2028 事業戦略

基本方針・課題

IGNITION 2028に向けた「事業構造改革」の方針

‘TORAY’

- ① 赤字事業の収益改善/見極め(収束) : 赤字製品系列 5/20⇒ゼロ化
- ② 製造固定費・比例費の徹底削減 : 売上総利益を10億円増(売上総利益率29%も向上)
(+高収益製品は拡大)
- ③ 営業体制・拠点の見直し+東レ/TMC一体運営による事業効率向上 : 営業費削減(▲7%)
- ④ グローバル展開戦略の再構築・実行 : 成長地域への経営資源シフト



赤字事業の解消

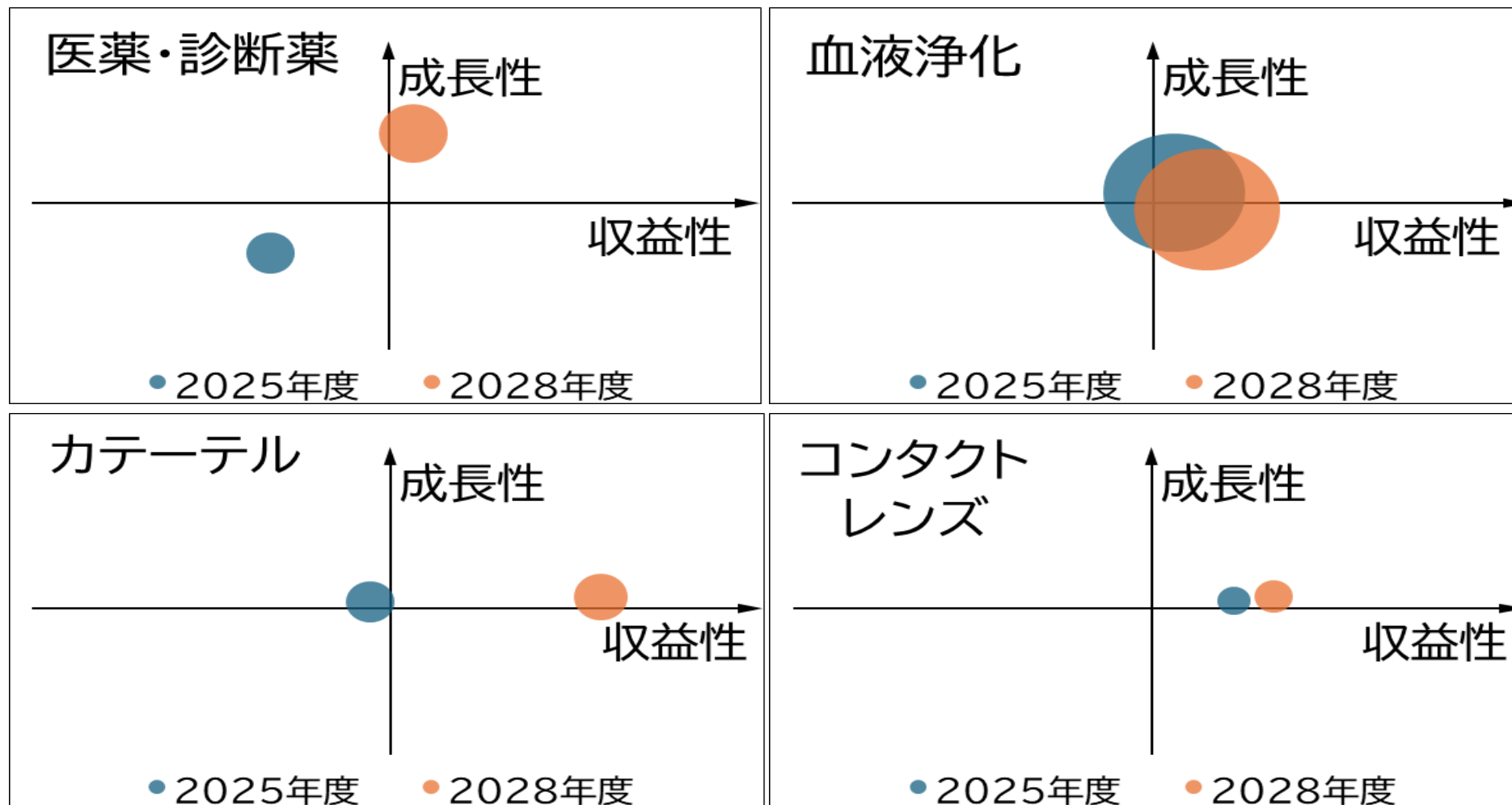
- 医薬
⇒ 事業戦略を根本的に見直す
- 診断薬(APOA2-iTQ®)
⇒ ELISAキットは自由診療領域で拡大
⇒ 自動機対応・グローバル展開は他社連携
- 汎用透析製品(トレスルホン®)
⇒ 競争力ある高付加価値製品にシフト
- ホット・バルーンカテーテル
⇒ 競合製品との徹底比較の上で見極め
- カテーテルアクセスポート(セルサイト®)
⇒ 内製化新製品「Riothera®」を上市
(利便性向上+C/D)

収益製品の拡大(グローバル展開)

- 透析高付加価値製品のさらなる競争力向上
+グローバル展開(トレライト®、フィルトライザー®)
- 血液浄化(吸着)製品のグローバル拡大
(フィルトール®、トレミキシン®)
- イノウエ・バルーン®のグローバル化加速
- コンタクトレンズ材料事業への集中
(グローバル事業拡大)

保有技術活用による新事業

- バイオ医薬品製造用分離膜
- ECMO用分離膜 等

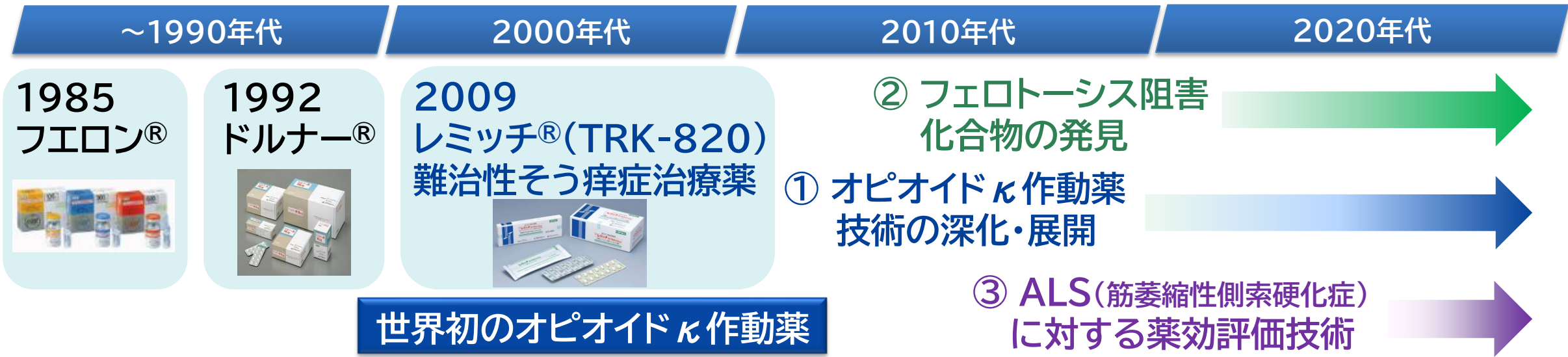


すべての製品系列において、収益性を基軸とした事業構造改革を推進中
⇒ 2028年度事業利益赤字製品ゼロを目指す

Ⅲ-2

IGNITION 2028 事業戦略

事業別課題・戦略



保有技術インフラ・アンメットニーズを考慮した研究に絞り込み

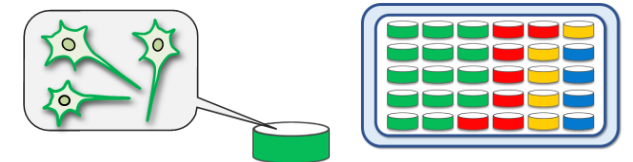
① オピオイドκ作動薬・神経疾患領域創薬の深化・展開

- TRK-820の新適応 (オピオイドκ作動薬/レミッチ®有効成分)
- 鎮痛薬 - 新たなオピオイドκ作動薬の展開 - モルヒネ(オピオイドμ)代替鎮痛薬創出への挑戦
- 末梢神経障害治療薬候補化合物 TRK-750

② 創薬ライブラリを保有するフェロトーシス阻害剤

- フェロトース:鉄依存的な制御性細胞死 (Dixonら、2012年)
- さまざまな疾患への関与が示唆 (急性腎障害等)

③ ALSに対する薬効評価技術 - iPS細胞培養の活用 -



新薬候補物質の患者に対する有効性を高精度に評価・予測できる

医薬研究の流れと戦略の見直し

化合物探索(非臨床)

成功確率:約10%(Phase I→承認、全疾患平均)

探索研究

リード最適化

開発適合性
(Non-GLP)

前臨床

Ph-I

Ph-II
(有効性評価)

Ph-III

承認申請

販売

ヒトでの有効性確認(POC取得)

創薬シーズ

創薬支援

プラットフォーム技術

共同研究

候補化合物

導出

共同創出後導出

開発ベンチャー(VCとの連携)

製薬企業

製薬企業

患者様

早期パートナーシップによるリスク低減・パイプライン確保



開発パートナー

創薬シーズ

早期導出



保有技術による創薬シーズ創出に経営資源を集中
開発リスクの抑制、研究サイクルの高速化

早期提携実績

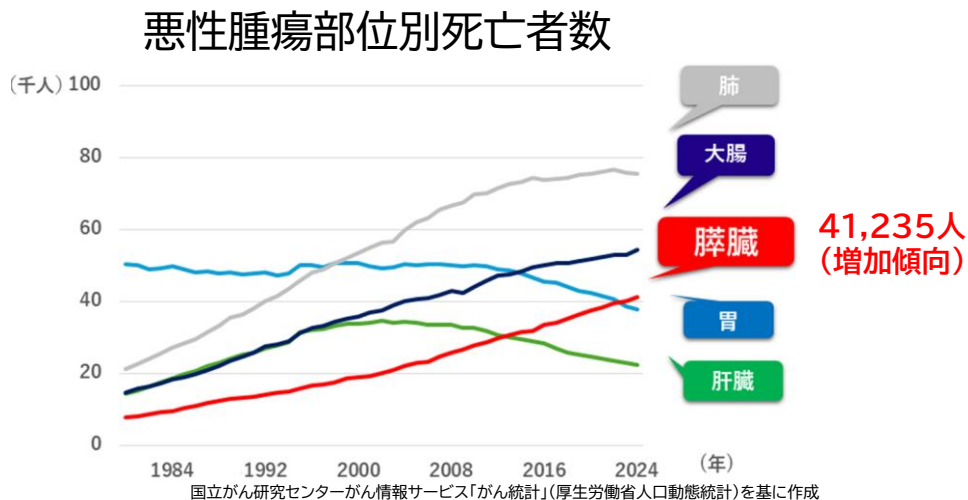
2024年・2025年 3件
VC系ベンチャーにライセンス

2024年:
パーキンソン病ジスキネジア
[TRK-820](開発中)

2025年:
TRK-750
(開発中)

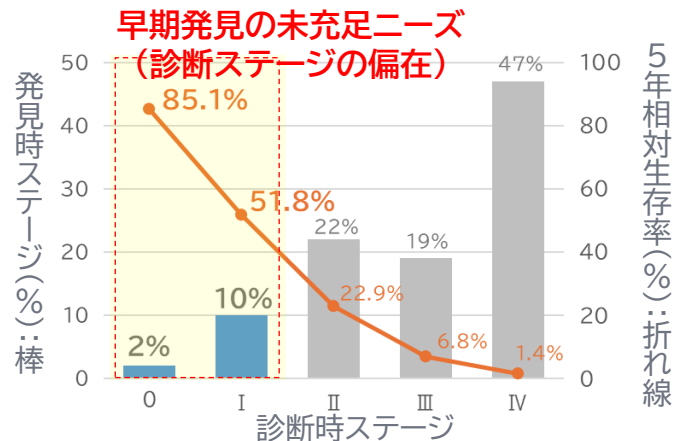


■ 増加する膵がんと早期発見の未充足ニーズ



膵がんの死亡者数が上位に

膵がんの診断ステージと生存率の乖離



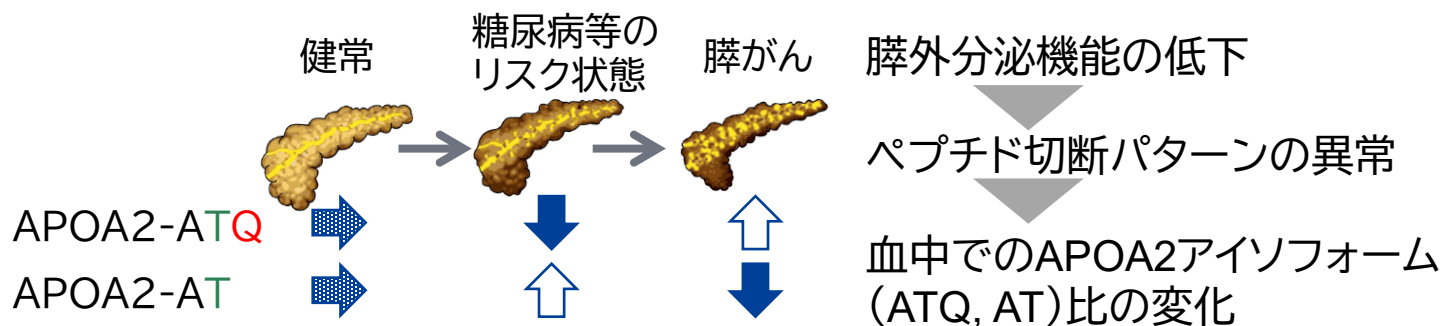
国立がん研究センターがん情報サービスおよびEgawa et al., Pancreas (2012)を基に当社作成

早期発見マーカーの確立が急務



患者数増加の一方、早期での発見は極めて限定的 → 当社マーカーで早期発見 ⇒ 適切な治療判断に貢献

■ APOA2アイソフォームのメカニズム(膵機能の変化をとらえる)



APOA2アイソフォームは、膵機能低下に関連する変化を反映する血液マーカーの一つ

体外診断用医薬品
「東レAPOA2-iTQ®」
製品化・保険適用済



ELISAキット

2023年6月承認

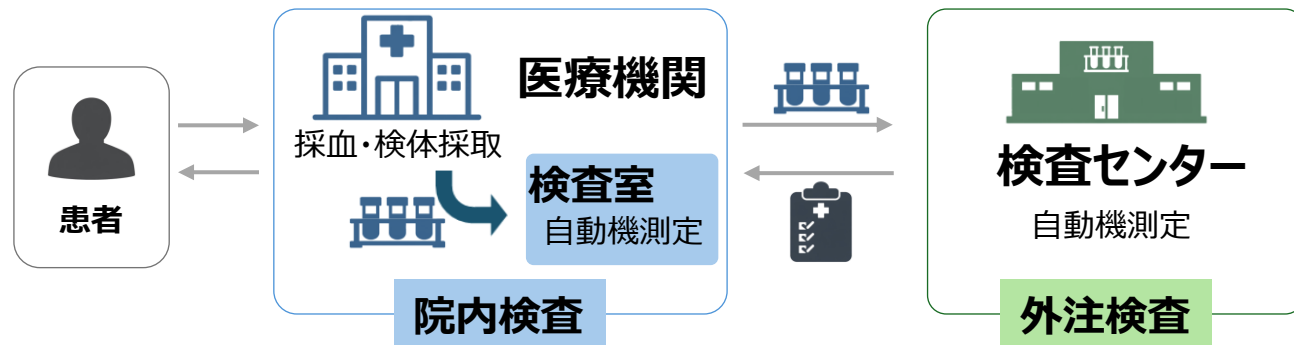
2024年2月保険収載
(E3区分、335点)

■ APOA2-i ELISAキット国内販売の拡大

早期発見ニーズに適合する**自由診療(健診・人間ドック)**で先行して展開・加速中。
(採用施設数・施設あたりの検査数拡大、保険適用でも浸透が進みつつある)

■ 自動検査機対応による事業拡大

- ELISAキット⇒自動検査機対応により、検査機関・院内で検査数増加。
自動検査機メーカーとのアライアンスを協議中。



- ELISAキットの海外展開での価値浸透(2026年度～)
→ 自動機検査のグローバル展開に向けて他社提携を進める。

■ 新規診断薬の開発

膵疾患関連
新規診断薬

膵外分泌機能評価(膵機能診断・検査)

参考: 2025年米国診断市場規模
約10億米ドル(便・血液・画像検査等)
(日本は保険適用検査が存在せず未充足領域)

アレルギー
検査チップ

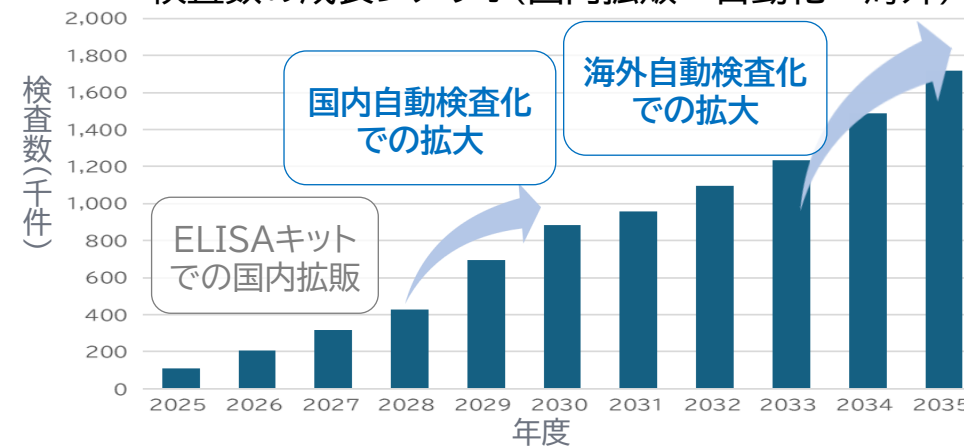
少量採血(小児対応) + 他項目同時検査
(従来検査法との整合性も確保)

<市場> 診断薬+検査サービス
国内:約220億円, 世界:約40億USD

ELISAキット検査数の成長



検査数の成長シナリオ(国内拡販→自動化→海外)





●トータル透析システムソリューションをグローバル展開



- ・経済性 : 節水・節電・節液 (+ 廃棄物削減)
- ・診療支援 : 生体モニタリング×自動制御
- ・業務支援 : 患者情報・装置情報の一元管理

透析用血液浄化器



救急用血液浄化器



トレライト®

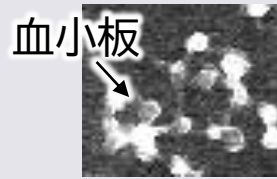
ポリスルホン(PS)中空糸膜



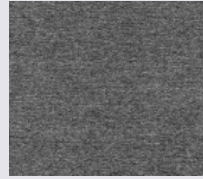
独自の抗血栓性ポリマーによる
生体適合性のHYDROLINK®膜

血液接触後の膜表面

(自社in vitro評価)



従来PS



トレライト®

フィルトライザー®

PMMA中空糸膜
(東レOnly One素材)



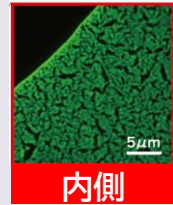
東レ独自の立体制御PMMA
による各種タンパク質の吸着

炎症タンパク質(IL6)の吸着例

(自社in vitro評価)



※ヘモフィル®CH



内側

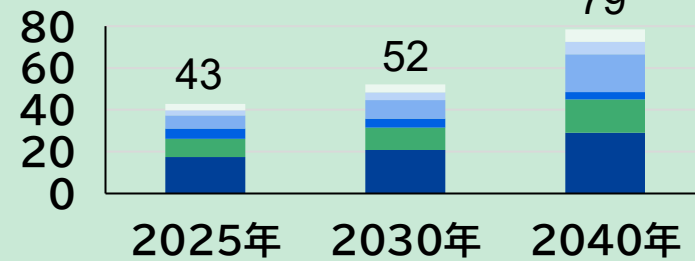


外側

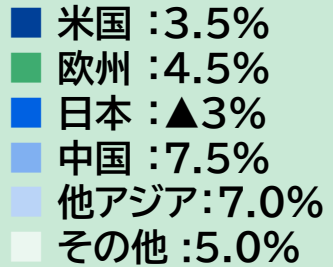
緑色:吸着したIL6

地域別市場動向

億US\$



CAGR
(~2030)



拡大戦略

■ グローバル展開

- ・各地域要求に合わせた高付加価値製品の拡大
(中国:トレライト®HDF※、欧州:PMMAなど)
- ・(臨床データの)周知によるブランド化推進
- ・成長地域でのグローバルパートナー連携

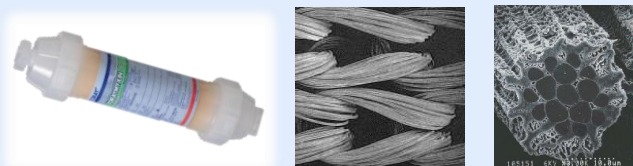
■ 高価格新製品の開発・上市

- ・小型・高除去性能ダイアライザ
(高齢化・環境対応)

※大量濾過を行う治療法(HDF)用の抗血栓性トレライト

トレミキシン®

重症敗血症用
エンドトキシン吸着カラム



世界初のエンドトキシン
(菌毒素)吸着繊維

Tigris試験

・敗血症性ショック患者※での米国
多施設共同無作為化臨床試験

※血中エンドトキシン活性(0.60-0.89)の患者

・トレミキシンは生存率改善に寄
与する可能性の高いことが、統計
的に示された。

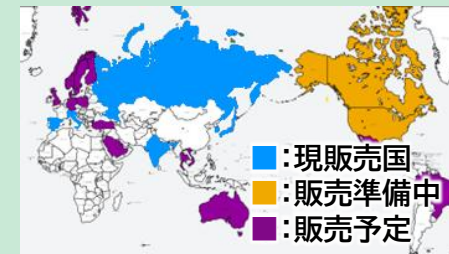
治療後	有益性確率
28日	95.3%
90日	99.4%

Lancet Respir Med(2026)

拡大戦略

■ グローバル市場の開拓

- ・米国での販売開始
- ・グローバル提携に
よる展開



■ 適応拡大

- ・特発性肺線維症の急性増悪領域の本格販売
(2024.11～保険適用)

フィルトール®

透析アミロイド症用
 β_2 ミクログロブリン吸着カラム



PMMAの吸着特性を
最大限活用した十字多孔質繊維

タンパク質吸着特性

(自社in vitro評価)



拡大戦略

■ 疾患領域の拡大・高価格新製品の上市

- ・透析合併症への適応拡大
- ・サイトカイン吸着カラム

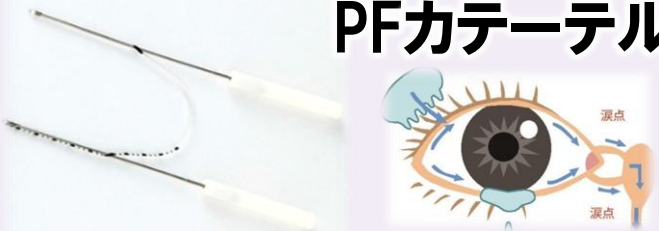
■ グローバル市場の開拓

- ・中国(市場規模大)、欧州(高付加価値市場)
- ・地域別に他社連携の推進

■ 生産能力増強・安定供給




PFカテーテル



流涙症(涙道閉塞、涙小管閉塞)

カテーテルアクセスポート・チューブ



動脈または静脈を介した化学療法

イノウエ・バルーン®

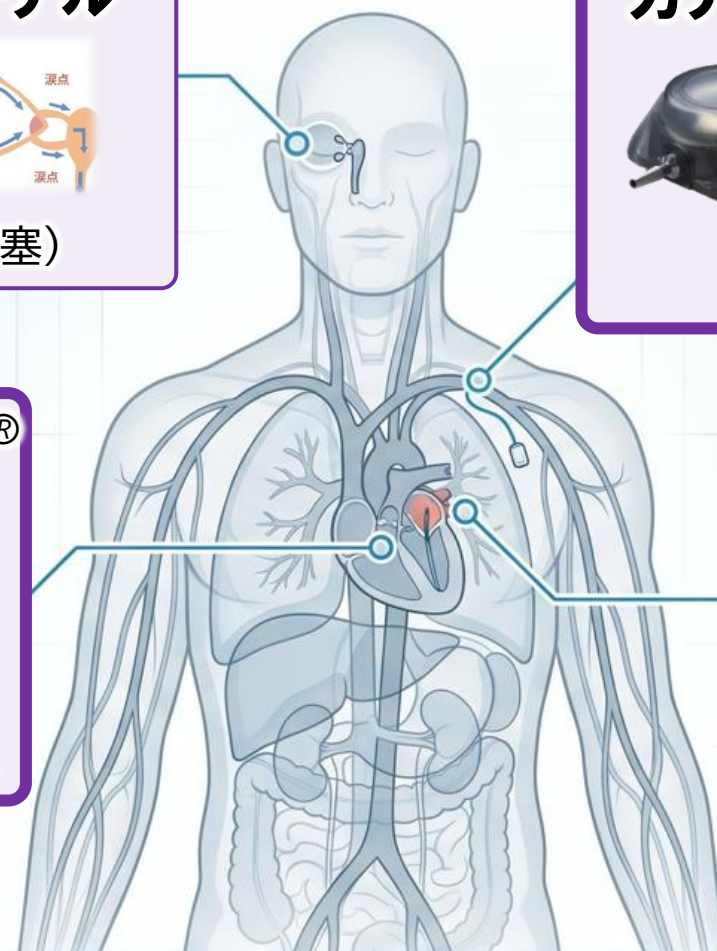


僧帽弁/大動脈弁狭窄症

ホット・バルーンカテーテル



不整脈治療(心房細動)



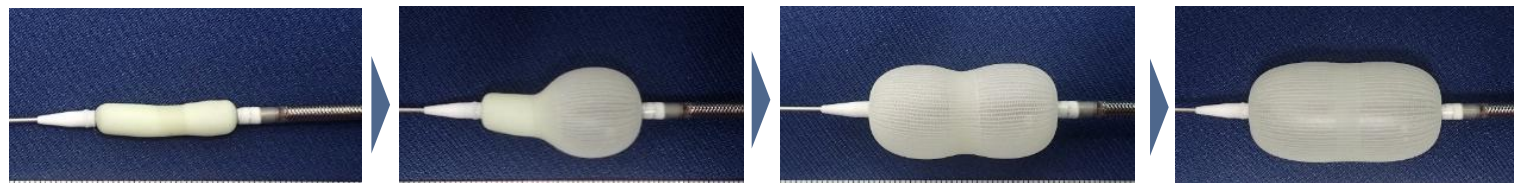
競争力のある製品に経営資源を集中 & グローバル展開加速

イノウエ・バルーン®



特徴

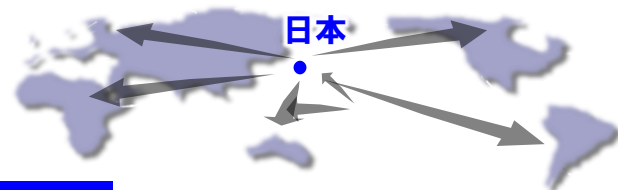
①バルーンの**段階拡張**、②短時間でバルーン**拡張収縮**



僧帽弁狭窄症治療用



- 国際ガイドラインで**標準治療として確立**
- 世界シェア No.1(55%)
- 1988年発売以来、累計**93か国**で販売



拡大戦略

患者数が多い
中東、アフリカ、ASEAN中心に拡大

大動脈弁狭窄症治療用



- TAVI*施行前の弁拡張に使用
- 国内シェアNo.1(65%)
- 欧米中心に施術件数は増加

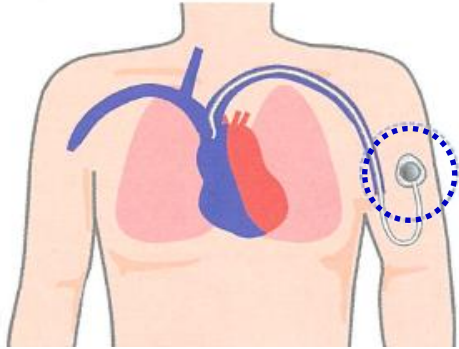
*)TAVI:経カテーテル
大動脈弁植え込み術

拡大戦略

国内に続いて**米国にて本格販売**

カテーテルアクセスポート

Riothera® **新製品**



皮下に埋め込み
薬剤供給

全身に薬剤徐放する化学療法用

システム全体の高付加価値化

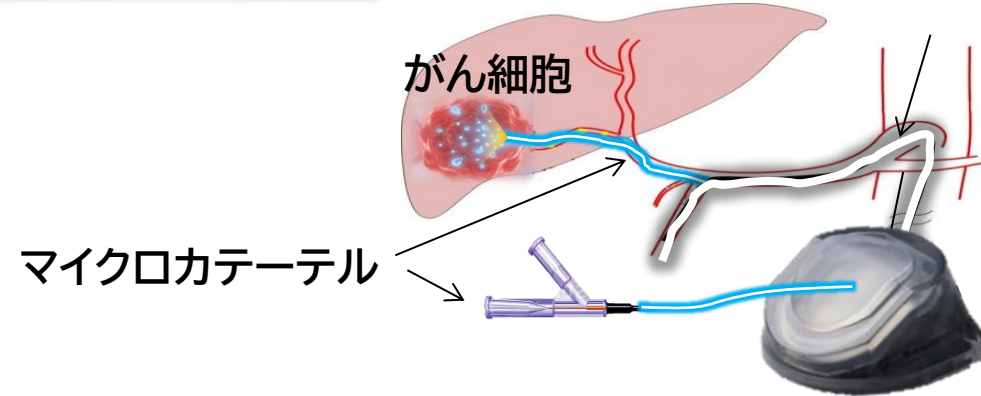
- ✓チューブ：抗血栓性・亀裂耐性
- ✓ポート：面積拡大(リスク低減)
- ✓付属品：充実化

拡大戦略

- ・内製化によるコスト競争力向上
- ・高付加価値市場へのグローバル展開を模索

PUチューブ(抗血栓性)

ReMAP®



- ポート(ReMAP®)からマイクロカテーテルを挿入し薬剤投与
- ✓切開手術の少ない低侵襲治療
 - ✓患部へのピンポイント投与のため、全身副作用が少ない

医療現場の要請に基づき開発
(東レ独自のオンリーワン製品)

拡大戦略

臨床エビデンスを積み、がん治療の新たな選択肢をグローバルに提供

■原料(コート剤含む)
■ハード(オルソ含む)

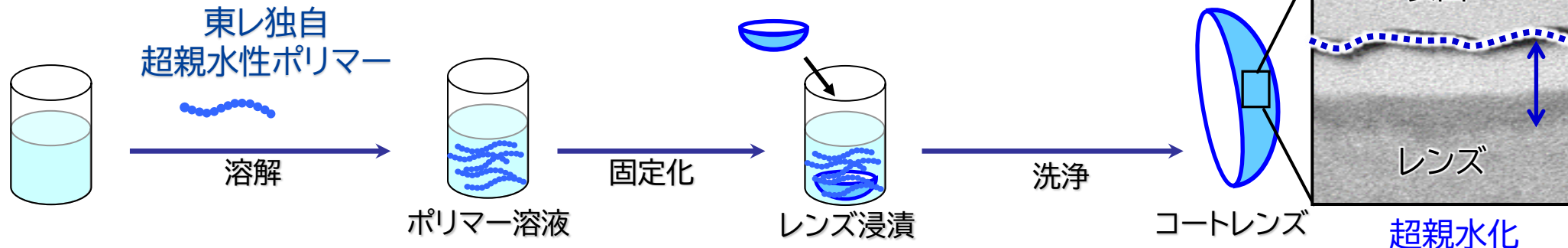


・成長するシリコンハイドロゲル(SiHy)市場において、レンズ基材原料の事業拡大

当社親水性技術について

技術コンセプト

高耐久+レンズ表面超親水化



東レ独自
親水性コート

特許権利化済

拡大方針

レンズ基材原料に加え **親水性コート材料事業** を拡大

材料開発体制の強化

- ・ 2025年12月～ 日米2拠点研究体制を構築。
- ・ 現在、グローバル生産体制強化を進めている。

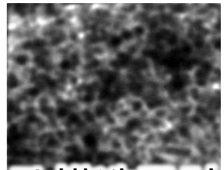
先端材料研(滋賀)

研究機能設置(ヒューストン)

■ 水処理の分離技術・繊維加工技術 + 医療材の技術の融合により、革新的な新規分離膜を創出

水処理

・孔径精密制御



孔構造設計



高度分析

(東レリサーチセンター)

・相分離制御



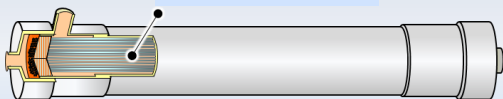
中空系内部構造



DX

・モジュール技術

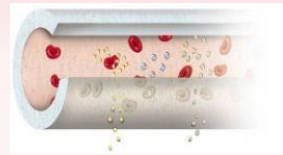
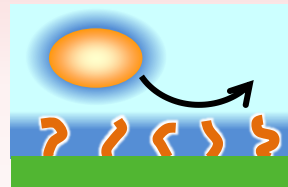
中空系膜



医療材

ノンファウリング技術

計算科学を用い
膜表面の親水／疎水性を制御



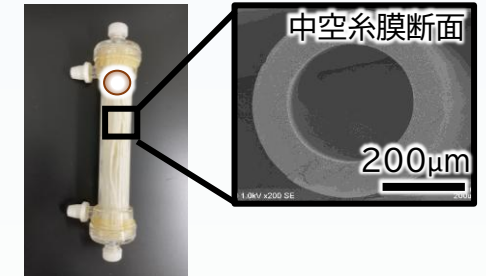
革新複合紡糸

東レ独自の

NANODESIGN®技術



① 拡大するバイオ医薬向け分離膜



孔径制御と膜表面の改質により、
膜交換、回収ロス、稼働率低下を低減

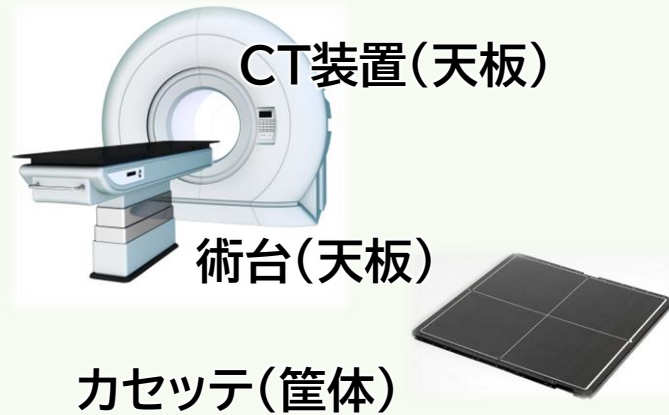
② ECMO膜

高度な気体(CO₂/O₂)透過
制御により高性能化を実現



医療・福祉用炭素繊維複合材

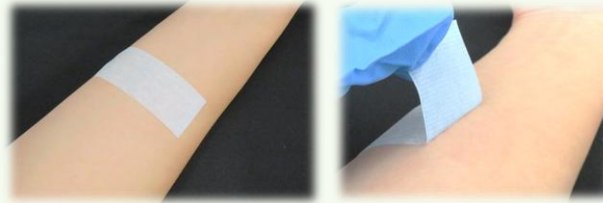
◆医療機器用途



◆福祉用途



PFASフリー 医療用フィルム



オフラインノンシリコーン
離形技術展開

食品用分離膜



内視鏡/カテーテル用 樹脂製光ファイバー



酸素濃度
センサ
内視鏡
照明用途

動物薬

ラプロス®
(ネコ慢性腎臓病)



インターキャット®
(イヌ・ネコ ウイルス感染症)



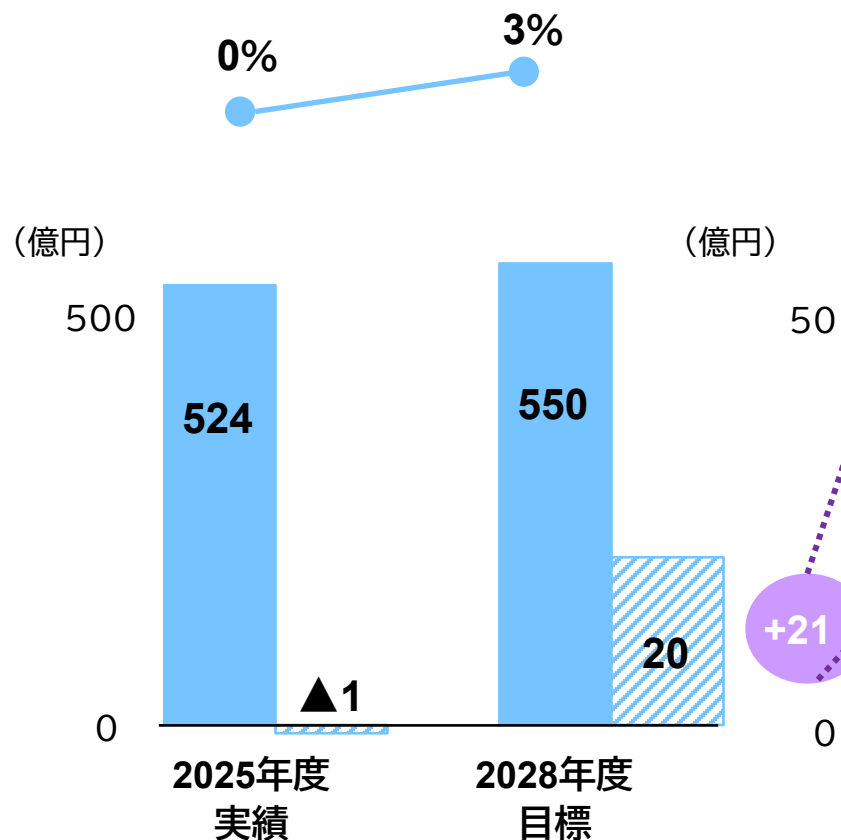
成長する高付加価値分野で、各事業本部の連携により拡大推進(ヘルスケア事業連携会議設置)

IV

2028年度の目標値

業績推移（医薬・医療）

■ 売上収益（左軸） ■ 事業利益（右軸） ● ROIC*



事業構造改革により、赤字事業の解消と収益製品の拡大、東レ/TMC 一体運営による合理化・迅速化を推進し収益力向上・黒字定着

構造改革

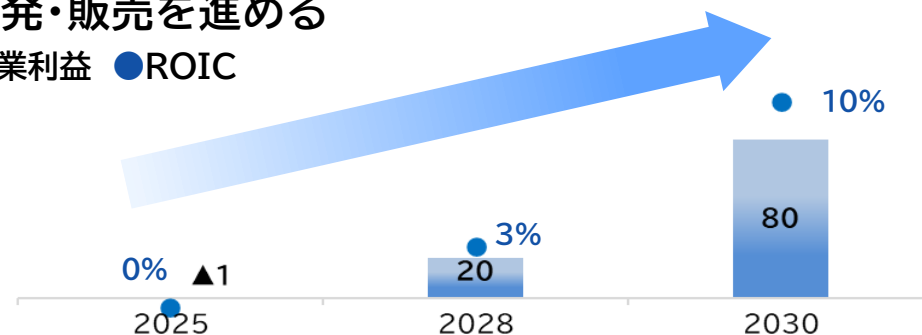
赤字事業の解消（医薬、診断薬、ホット・バルーンカテーテル、カテーテルアクセスポート、汎用透析製品）

収益製品の拡大（透析高付加価値品、血液浄化製品、イノウエ・バルーン®、コンタクトレンズ材料）

東レ/TMC一体運営による合理化（費用削減）

2030年近傍のROIC10%達成を目指し、既存事業の改善・強化に加え膜分離技術、ポリマー技術、表面付与技術などの強みを活かした新製品の開発・販売を進める

■ 事業利益 ● ROIC



※ ROIC: 税引後事業利益 ÷ 投下資本(期首・期末平均、事業資産ベース)

'TORAY'

Innovation by Chemistry

**先端材料と技術をグローバルに提供し、
命と健康を守る製品とサービスで社会に貢献します。**

本資料中の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。